

主体間の連携による 使い捨て飲料容器の削減および 水の域産域消の普及啓発活動

〒110-0015
東京都台東区東上野1-20-6
丸幸ビル3F
電話:075-211-3521(環境市民)
E-mail:info@sui-do.jp
http://sui-do.jp



ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



ブリストルのRefillプロジェクト調査

| | |
|----------------|------|
| イベントの延べ参加者数 | 800人 |
| イベント参加者の満足度 | 91% |
| 今年度計画の達成度 | 95% |
| 活動の全体目標に対する達成度 | 65% |

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

イベント準備、当日等のスタッフ、ボランティアの確保は苦労した。

■ 工夫した点

ネガティブな情報の多い海ごみをテーマに戦略的なキャンペーンの成功事例や魅力的な給水インフラ等ポジティブな情報を提示した。

課題

ペットボトルなどの使い捨て容器に入った飲料の消費の増加は、資源消費量、CO₂排出量等の環境負荷の増加につながっており、水道水や地域の水資源への関心は低い。

目標

地域や大学等、活動実施場所において、会議やイベントにおける使い捨て容器入り飲料の利用の削減の取組み、水飲み場等のインフラ整備が進むこと。

活動内容と成果

●英国、フランスにおいて、行政、研究機関、NGO等へのヒアリングとフィールド調査を実施した。●国内の会議、イベント等で提供される飲料のモニタリング「会議飲料ウォッチャー」を実施した。●水Do!キャラバンを都内、逗子、

熊本の5か所で開催し、来場者に行動変化を呼びかけた。●「水Do!フォーラム2018～海ごみから考える脱使い捨てと水のエネルギー消費」を開催。ロンドンのペットボトル削減キャンペーンのリーダーをゲストに迎え、国内のステークホルダーとともに主体間の連携による脱使い捨ての推進を議論した。



水Do!フォーラム2018会場全景

今後の展望

これまで収集した国内外の脱使い捨て容器・プラスチック削減の取組み情報等をベースに自治体向けのマニュアルを作成、また、地域団体等が啓発活動で使用できる紙芝居やワークショッププログラムを完成させる。